

週報

令和 5 年 9 月 15 日
2023~2024年度 No.10

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

プログラム

S A A 藤川 博士君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「それでこそロータリー」

☆四つのテスト唱和 職業奉仕委員会

☆新会員入会式

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

「ロータリーの友月間卓話」

寺澤 信義君

☆点 鐘

現在会員					前々回の欠席者(9/1)					3名			
本 日	出席	20名	欠席	4名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	2名	出席率	83.33%			
	前々回	出席	17名	MU	0名	免除(a)MU	3名	免除(b)MU	3名	修正出席率	86.36%		
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
	本年度	77.26	83.66										
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39

例会場 カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
例 会 金曜日(12時30分~13時30分)
事 務 所 長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 平 村 和 弘
副 会 長 山 里 一 郎
幹 事 松 岡 孝 博
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

新会員入会式

氏名 宮脇 秀至（みやわき ひでゆき）君
役職 福江空港ターミナルビル株式会社
代表取締役社長
年齢 60歳
推薦者 清瀧 誠司君



「新会員挨拶」

宮脇 秀至君

出身はANAからです。総合職事務系で入社して36年目。五島市が11回目の転勤・赴任地です。前任地は沖縄県の石垣島です。面積は福江島と大きく変わらず、八重山諸島も五島列島と人口も変わらず、尖閣諸島を抱えている国境国防の課題も類似しています。空港搭乗客・観光客だけが約15倍の差。

地域創生として空港事業の可能性は大きく、五島列島の観光事業の活性化を目指したいと思います。

〈経歴〉

1963年5月25日東京生まれ、1987年立教大学経済学部卒業。同年、全日本空輸株式会社入社、大阪空港支店勤務。

以下、主な担当歴。

- 1990年 本社財務部
- 1996年 米国駐在ワシントン支店
- 2001年 成田空港支店旅客部課長
- 2006年 米国駐在シカゴ空港所運送マネージャー
- 2012年 中部空港支店旅客部長
- 2014年 徳島空港所長
- 2019年 石垣空港所長兼石垣八重山支店長
- 2023年 福江空港ターミナル(株)代表取締役社長〈地域創生活動〉
- 大規模災害「緊急物資輸送に関する覚書」石垣市・竹富町等と締結 2019年～
- 石垣市職員・竹富町職員向け「接遇&マナー研修」 2020年
- ボランティア団体「青空の会」の立上げ「ビーチクリーン」「こども航空教室」など活動 2019年～
- SAF燃料搭載B787 羽田ー石垣線国内商業定期便で初運航 2023年3月
- 石垣ロータリークラブ所属 2020年

会長の時間

会長 平村 和弘君

それでは会長の時間を始めさせていただきます。

本日は、第1回目の放出が終了した福島のいわゆる処理水。正確にはALPS処理水について調べてみましたので、お話しさせていただきます。

ALPS処理水とは、トリチウム以外の放射性物質が安全に関する規制基準値を確実に下回るまで、多核種除去設備等で浄化処理した水（トリチウムを除く告示濃度比総和1未満）を「ALPS処理水」と言います。ALPS処理水の中には、浄化設備で取り除くことができない「トリチウム」という放射性物質があります。「水素」の仲間、中性子の数が2つ多いもの。それがトリチウム（三重水素）です。トリチウムの多くは他の水素と同じように酸素と結びつき、「水」のかたちで存在しています。

トリチウムは、普通の水素より中性子が2つ多く、原子核が不安定なため、中性子のひとつが電子を放出し陽子へと変化して、その結果ヘリウムになります。このとき放出される電子が、放射線の一つであるベータ線です。このベータ線は、空気中を5mmほどしか進むことができない弱いエネルギーの放射線です。

トリチウムは、身のまわりに広く存在しています。宇宙から降り注ぐ宇宙線により日々あらたに生成され、雨水や河川、水道水の中にも1リットルあたり0.1～1ベクレルのトリチウムが含まれているそうです。WHO（世界保健機関）の飲料水ガイドラインでは、1リットルあたり1万ベクレルとされています。また、国内外の原子力施設でも放射線により生成されています。

人体への影響ですが、トリチウムは他の放射性物質と比べて、人体への影響は低いと言われています。放射線のエネルギーが弱く、皮膚を通るこ

とができないため、外部被ばくによる影響はほとんどありません。また、内部被ばくにおいても、トリチウムは水と同じように体外へ排出されるため、体内で蓄積・濃縮されないことが確認されているそうです。

福島第一原発のALPS処理水は、事故前の放出管理目標値である年間2兆ベクレルを上限に、海水で薄めてから海洋放出されています。その際のトリチウムの濃度は、1,500ベクレル/リットル未満と定められており。これは日本の安全基準の40分の1、世界保健機構（WHO）が定める飲料水ガイドライン1万ベクレルの7分の1となっています。

国際原子力機関IAEAからも、ALPS処理水の海洋放出について国際安全基準に合致していること等を結論付ける「包括報告書」が、7月4日に公表されています。

このように、安全性に問題はないとされている海洋放出に中国がいちゃもんを付けていますが、世界各国からの賛同はまったく得られていません。噂では、中国国内の原子力発電所から放出されるトリチウムは、まだまだ多いとも言われています。

次回以降の放出も科学的根拠の元、安全に十分に配慮して実施していただければと思います。

また、福島の方々が風評被害にあわないように、我々ロータリアンも十分に配慮し、考慮していかなければならない問題だと思います。

以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 松岡 孝博君

【当クラブ関係】

- 9月10日（日）銚瀬海岸の清掃が予定どおり、福江中央RCと合同で開催されました。また、2023年～2024年「第2740地区ロータリー奉仕デー環境美化プロジェクト」の実績報告書を提出し、確認していただきました。参加された方はお疲れ様でした。

後ほど、社会奉仕委員長の張本さんより報告があります。

- 9月21日（木）第1回第9・第10グループ、会長・幹事会が長崎のホテルニュー長崎で18時30分より開催されます。私は私用ができた為に平村会長が出席します。
- 次週9月22日（金）は例会休会（※クラブ定款第7条）です。

【地区関係】

- 長崎出島ロータリークラブより、25周年記念式典のお礼状が届いています。

【その他】

- 福江中央RCより週報第7,8号が届いています。

委員会報告

出席報告

- 9月15日（免除(a)欠席者）
中村 博義君 中村 吉廣君 植松 郁雄君
- 9月15日（免除(b)欠席者）
谷川 和啓君 佐々野邦久君
- 9月15日欠席者
坂井 成光君 中村 栄治君 柳田 靖夫君
片山 雅文君

親睦委員会

スマイル報告

- 清瀧 誠司君 新しく入会された宮脇秀至君を宜しく願いいたします。
- 宮脇 秀至君 本日、歴史ある福江ロータリークラブに入会させていただきました宮脇秀至です。皆さんのご指導の下、委員会活動にも頑張っていきますので、今後とも宜しく願いいたします。
- 寺澤 信義君 本日、卓話をさせていただきます。ご清聴よろしく願いいたします。
- 張本 民雄君 9月10日に行われたロータリー奉仕デー、ご協力ありがとうございました。
- 平村 和弘君 宮脇秀至さん、ようこそ福江ロータリークラブへ。入会歓迎いたします。
- 松岡 孝博君 ”
- 吉田 泰之君 ”
- 戸田 博之君 ”
- 山下 実君 ”
- 才津 喜彦君 ”

◇神之浦文彦君	〃	
◇山下 克己君	〃	
◇山里 一郎君	寺澤信義さん、本日「ロータリーの友月間卓話」よろしくお願ひします。	
◇小畑 和男君	〃	
◇西上裕一郎君	〃	
◇橋本 武敏君	〃	
◇三村 剛孝君	〃	
◇有川 真史君	〃	
◇藤川 博士君	〃	
◇山口 裕之君	〃	
	合計	20,000円
	通算合計	202,000円

部 内 卓 話

「ロータリーの友月間卓話」

寺澤 信義君



皆様、こんにちは。

本日は、「ロータリーの友」に沿ったテーマでの卓話依頼を受けましたので、少しお時間を頂いてお話をさせて下さい。宜しくお願いいたします。

先ず、ロータリアンとしての期間がまだ短く、未熟であることを踏まえてお聞き頂きたいですし、次回先輩方も同テーマに合わせて深掘して頂けたら幸いです。

私は前年度、今年度と「雑誌・会報委員会」の委員長を拝命しておりますので、「ロータリーの友」はそれから意識して目を通すようになりました。今でも覚えています。最初の印象は表紙と裏表紙の違いが分かりにくく、どちらから読み進めれば良いのかすら分かりませんでした。

そして、いつも思うことが個性的な「絵」、「写真」です。昨年度は「スタジオ ジャングルジム」という会社が手掛けており、今年度は障害者の作品が描かれております。

また、「ロータリーの友」は左にページをめくっ

ていくと、R I会長のメッセージに始まり、国際的な取り組みが紹介されています。(横書き)

逆に右にページをめくって読み進めると、「SPEECH」という項目で、ある人物にスポットを当てた特集が紹介されています。(縦書き)

少し、「ロータリーの友」を見てみようかと興味を持たれたら、右にページをめくって読み進める方が先ずは読みやすいのではないかと思います。

さて、「ロータリーの友」の発行の歴史について少しお話いたします。

1952年(昭和27年)4月に行われた大会で、同年7月からの新年度から、日本の地区は東日本と西日本に分割されることが決定していましたので、分割後もこれまで共に活動していた日本のロータリアンが緊密に連絡を取り合い、情報を共有する為の機関誌として企画され、翌年の1953年1月号が創刊号として発行されました。創刊号以降毎月発行されて、当時の価格は50円だった様です。(広告を取って内容は100円分)現在の価格は、昨年7月号より税別250円です。

「ロータリーの友」の名称の由来は投票で決まったのですが、おつまみの「ビールの友」からヒントを得たのでは?と言う柏原孫左衛門氏の発言に一同爆笑だったそうですが、実際は「主婦の友」かららしいです。

この雑誌、昭和28年生まれということは、吉田泰之さんより先輩です。

当初、当時としては画期的であった横書きでスタートした「ロータリーの友」ですが、その後に「俳壇」「歌壇」等の横書きでは具合の悪い欄がまった事で、1972年(昭和47年)1月号から縦書きと横書きを分けて、それぞれに表紙を付けることとなり現在に至ります。

昭和47年ということは、片山雅文さんより先輩です。

その後、1980年(昭和55年)7月号からR I公式地域雑誌となりました。昭和55年ということは、有川真史さんより先輩です。

ここからは、「ロータリーの友」に掲載されるコツについてお話を進めていきます。福江ロータリークラブの活動が掲載される為には、以下のポイントが重要らしいです。

- ① クラブは地域社会のどのような問題や課題を解決しようとしているかという視点
- ② どんな行動を実際に起こしたか?行動を起こすにあたって会員の知識や経験が活動にどう活かされたか?また、どのような課題に直面したか?

③ その活動によって、どんな変化がもたらされたか？地元の人達の意識（生活）をどのように変えることが出来たか？具体例やデータ等の資料を基に作成すると、説得力が深まります。

また、写真を撮るポイントについても以下の3点が重要らしいです。

- ① 自然な様子を捉え、カメラ目線ではなく活動中の姿を写します。
- ② 活動の中心となるのは誰なのかを考えながら、楽しそうにイキイキとした表情の瞬間を撮ります。
- ③ 著作権や肖像権を守るらしいです。

昨日の長崎新聞朝刊に、先日の福江中央ロータリークラブとの合同での鏡瀬清掃活動の写真が載っていましたが、イメージで言うとあのような写真です。集合写真ではダメみたいです。

また、ロータリーの友では広告も募集しております。

見開きの片方のページでカラーで680,000円、モノクロで360,000円です。さらに、1/2ページのカラーは320,000円、モノクロで200,000円です。1/4ページもありますので、広告を出したい方は各自でお問い合わせ下さい。

ここからは、「ロータリーの友」の内容について少しお話いたします。

毎月、掲載構成はほぼ一緒です。先程お話したように、地区分割後も緊密に情報交換をし合うという主旨の基でスタートしておりますので、他クラブの社会貢献取組活動等は、とても参考になります。また、所々にロータリーの歴史についてや特集されている方の人生観等、私のような若輩者には学ぶべき点が多いと思います。

最近の掲載記事で記憶に残っているのは、2023年2月号の「SPEECH」欄に載っていた安齋隆さんの記事でした。

安齋さんは、現在セブン銀行特別顧問と東洋大学理事長をされています。

その安齋さんのテーマが、「人との出会い、他者のために生きる」でした。

「人生における人との出会いには、宿命的なものと自分自身の選択で出会うものの二つがある。」とされています。宿命的なものとは、生まれ、親、兄弟、このようなものは宿命的で自分に選択の余地はないでしょう。

自分自身の選択で出会うものとしては、年齢を重ねていくうちに自然と行っている出会いを指すものだと言われておりました。

現在、私が福江ロータリークラブの一員であることは福江営業オフィスへ赴任時に、ご縁があって入会させていただいたことがきっかけです。

自分自身の選択での出会いでは、3年前の自分自身の選択を褒めてあげたいですし、中村陽二さんに感謝でいっぱいです。

一方、「他者のために生きる」については、セブン銀行の初代社長時は、お客さまの立場で物を考えてみて、お客様ファーストの手法を取られています。次に従業員、次は社会に役立てるかどうかだと言われています。自分自身のことは考えなくても、他者のために力を注げば回りまわって自分のところにも戻ってくるものだという事は、私自身も全く同感でした。

他にも気になる記事は多いですし、「ガバナー月信」や「ガバナーズマンズリーター」等も発行されておりますので、お時間のある時にでもご覧頂けたらと思います。

2023年9月10日ロータリー奉仕デー環境美化プロジェクト

—— 鏡瀬溶岩海岸清掃 ——

